

9.4 PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業
 <“建物屋根上や空き地”以外の場所を活用したソーラーカーポート等の自家消費型の太陽光発電設備及び蓄電池の導入を行う事業>

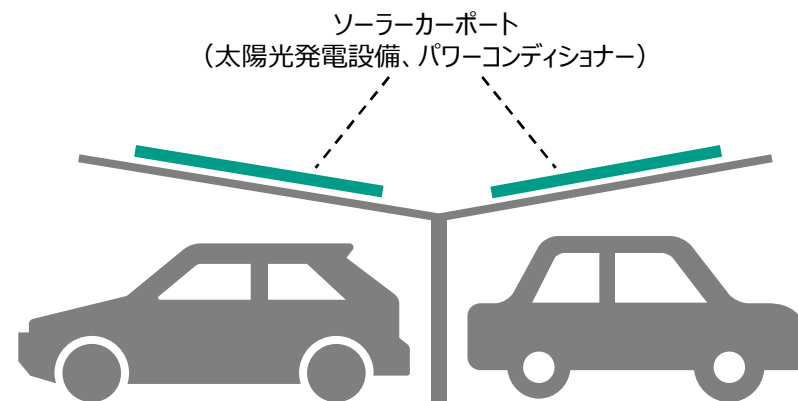
①ソーラーカーポートの新設による環境負荷軽減と防災対策強化

事業概要

事業者概要	事業者名	積水化学工業株式会社
	業種	製造業（化学製品）
事業所	所在地	滋賀県
	総延床面積	46,912m ²
補助金額	補助金額	約4,293万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	-
	導入設備	ソーラーカーポート（太陽光発電設備、パワーコンディショナー）
事業期間	稼働日	2022年1月
区分		新設
特長		ソーラーカーポートの導入により、購入電力の削減ができた。また、日中に太陽光発電設備による電力供給が可能となったことで、停電時でも電力確保が可能になった。

システム図

実施後



写真

ソーラーカーポート
 （太陽光発電設備、パワーコンディショナー）



変電設備



9.4 PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業
 〈“建物屋根上や空き地”以外の場所を活用したソーラーカーポート等の自家消費型の太陽光発電設備及び蓄電池の導入を行う事業〉

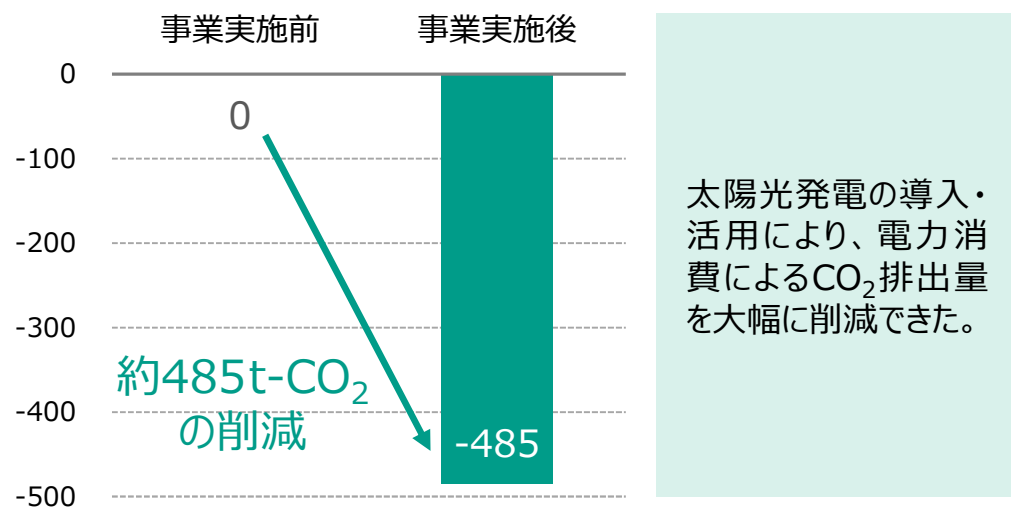
①ソーラーカーポートの新設による環境負荷軽減と防災対策強化

事業の効果

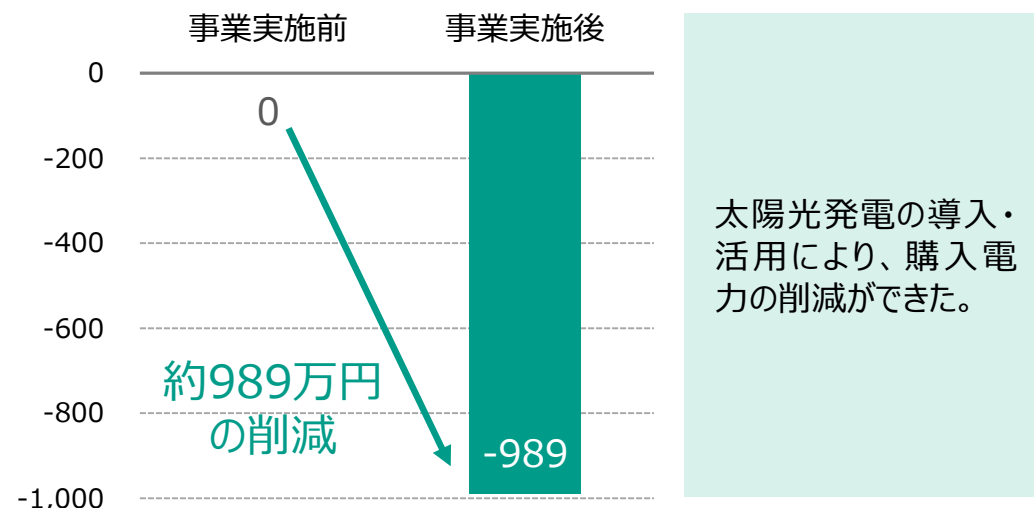
エネルギーコスト削減額		約989万円／年
投資回収年数	補助あり	約9年
	補助なし	約13年

CO ₂ 削減量	約485t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	5,210円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
 ※ ここに示す事業の効果は、電力単価：11.8円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

①ソーラーカーポートの新設による環境負荷軽減と防災対策強化

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ソーラーカーポートの導入によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・事業実施前は、特に夏季の電力使用量が多く、節電目標値を超過することもあったが、当設備の導入により、節電目標の達成など環境負荷軽減が実現できた。
- ・設備導入により、日中の最低限の電力を賄うことができる想定で、停電時の事業継続計画（BCP）対策ができた。
- ・購入電力削減による生産コスト低減のほか、グリーン電力利用による自社の環境優位性が向上した。

設備新設による環境負荷軽減

実施前 特に夏季は、節電目標の達成が困難に



【購入電力量の増加】

実施後 購入電力量が減少し、節電目標を達成

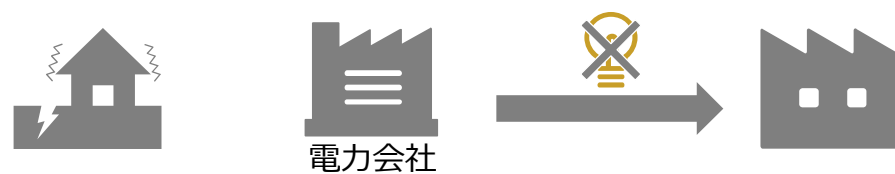


【購入電力量の減少】

設備新設により、**環境負荷が軽減した。**

停電時の電力供給が可能となった

実施前 停電時の電力供給はできず



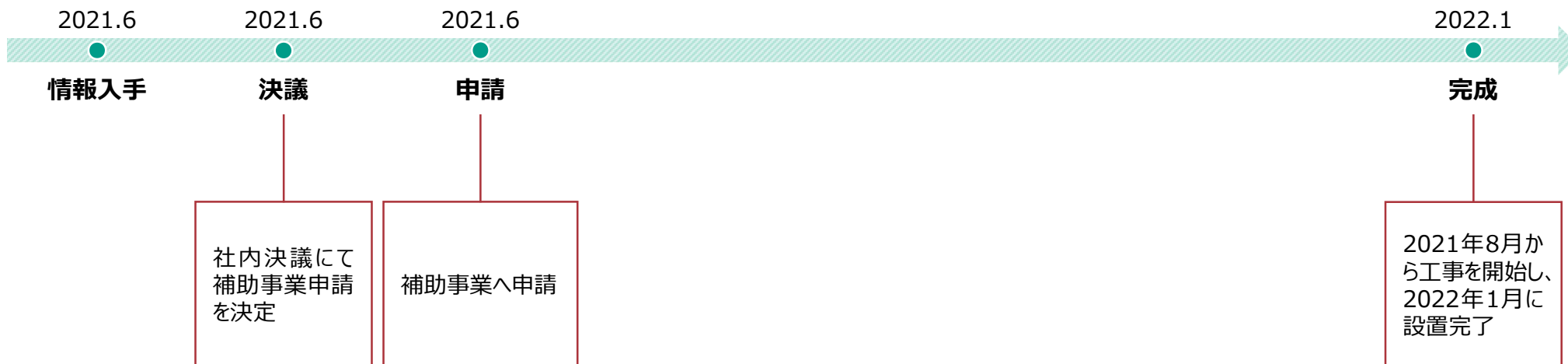
実施後 停電時の電力供給が可能となった



設備導入により、**停電時の事業継続計画（BCP）対策が可能となった。**

①ソーラーカーポートの新設による環境負荷軽減と防災対策強化

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



担当者

- 当社では、今回の設備導入効果を受けて、今後も更なる再エネ電力の自己調達化を推進するとともに、熱利用設備についても、順次高効率設備や廃熱利用設備の導入を検討していきます。
- 脱炭素の潮流をチャンスと捉えており、環境に優しい企業として外部PRになると考えています。